

信州の木活用モデル地域支援事業 松くい虫被害木の木質バイオマス燃料等への活用モデル事業について

森林づくり推進課

1 概要

「信州の木活用モデル地域支援事業」の里山地域における松くい虫等による被害材の利用モデルの確立に向けた支援として拡充した、「松くい虫被害木の木質バイオマス燃料等への活用モデル事業」を公募したところ、2件の応募があり、内容など適当と認められましたので、2件の事業の採択をしました。

2 予算額等

- (1) 予算額：5,000 千円（基金繰入金）
 (2) 補助率：10/10（1箇所 2,500 千円を上限）

3 実施箇所

(単位：千円)

事業主体	実施地区	事業内容	(対象事業費) 補助金額
上田市	上田市下之郷 東山市有林	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の松くい虫被害木等を伐採・搬出し、チップ化するとともにチップの品質の検証、工程調査を実施。 ・事業規模は皆伐約 1 ha、搬出材積は 255m³ を予定 ・森林組合へ委託 ・激害地の再生を図る ・チップは長野市「お山の発電所」に持ち込む。 	(2,600) 2,500
松本広域 森林組合	松本市四賀 穴沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、通学路沿いの被害木は支障物があるため、クレーン車を使用して特殊伐採し、移動式大型チップパーによりチップ化する作業の工程調査を実施。 ・事業規模は被害木約 110 本、40m³ を予定 ・今後、松本市が公共施設に導入計画のある木質バイオマスボイラーに供給することを想定。 ・チップは富山グリーンエネルギー北陸に持ち込む。 	(2,896) 2,500
計			(5,496) 5,000

4 本事業により期待される効果

松くい虫被害木の木質バイオマス燃料への利活用に向けた行程及び検証結果を踏まえた取組内容が被害木対応のモデルとなり、これを事業者・県が情報を発信し、次期森林税における未利用木材資源の利活用につなげ、他の被害市町村や被害地域で被害木対策の自立を促進します。